

令和5年度第1回仙台市若林区区民協働まちづくり事業評価委員会  
令和5年度仙台市若林区まちづくり活動助成申込事業 計画説明会 議事要旨

日 時：令和5年6月30日(金) 13:30～15:55

会 場：若林区役所4階第2・第3会議室

出席者：針生委員長、田澤委員、神坂委員、玉淵委員、  
広瀬委員、高橋委員、菅原委員  
若林区まちづくり推進課事務局

1. 開会

評価委員の紹介、概要説明

2. 申込事業計画説明及び質疑応答

(1) 事業名：2023せんだいわらアートフェスティバル

団体名：せんだいわらアート実行委員会

<プレゼン概要>

- ・沿岸部の跡地利用の事業者との連携を通じた来訪者の回遊性づくり、地域全体をPRする取り組みを行い、地域の活力を引き出していく。

<質疑・意見>

**Q 復興からのまちづくりとなると、住民側が主体的に取り組む必要があると思うが、現時点だとイベントをやって、そこに来場者として行くという関係性しか見えなかった。地域住民が具体的にどう関わっていくか教えていただきたい。**

A 最近ではコロナの影響で実施できていなかったが、一般の参加者を募り、地域の農家と共同で田植えを行うなどの農業体験を行っていた。そういった取り組みを再開させていきたい、

**Q 例年、わらアートは何体作成し、どれくらいの人数が関わり、どれくらいの作成期間を要するのか教えていただきたい？**

A 大きいものだと4体程度作成し、2、3メートルの大きさになる。小さいものだと1メートルで3体程度作成する。学生や実行委員の人数を合わせると約50人で行い、夏の1か月間で藁をつける作業を行う。その後、藁を回収する作業であったり、藁のシートを作る作業もある。年間を通じて行っている。

**Q わらアート作品に対する賞のようなものはあるか。**

A 現時点でそういった取り組みは行っていないが、(質問の中で委員から提案があった)投票制によるその年のベスト作品を決めるというアイデアは参考にさせていただきたい。

**Q 子どもたちの関わりについて教えていただきたい。**

A 以前は小学生と案山子を作ったり、ワークショップなどを行ってきたが、最近ではコロナの影響で開催できなかったため、再開したいと考えている。

Q 地域を活性化するということが、海外に向けたPRや観光面でも何か検討しているのか。

A 地域の事業者からインバウンドが課題になっているという意見があるので、Paint（学生による地域の魅力を発信するポータルサイト）を活用して取り組みを検討したい。

Q 実行委員会の中で役割分担があるのか、それとも、全ての事業を全員で行うのか。

A 今は全ての事業を実行委員会全員で行っているが、今後新しい展開の中でどういう組織作りをしていくべきか検討している。

Q 今年度の新しい取り組みということで、地域の回遊性を意識したまちづくりを展開していきたいという話があったが、これまでの活動の中で色々な課題があったと思う。どのような課題があり、それをどのように乗り越えてきたのか教えていただきたい。

A わらアートの作成は主にボランティアの大学生が行っており（ずっと学生が続く訳ではないので）、技術の継承が課題と感じている。

Q 沿岸部の跡地利用の事業者と共同しながらということが説明にあったが、どの事業者と協力する予定があり、どこまで話が進み、具体的に何をするのか教えていただきたい。

A JRフルーツパークやアクアイグニス、三井アウトレットパークと連携を進めている。今はスタンプラリーの開催を行っているが、これからどのように回遊性を作っていくかというところはまだ意見のすり合わせという段階である。

Q 予算書ではYS市庭コミュニティ財団に77万円の助成金を申請をしているということだが、仮に助成金が下りなかった時に他に資金調達の手立てがあるのか教えていただきたい。

A 他の助成金や事業協賛を募ることを検討している。

Q この事業の目的の中で、過疎化に対する農村コミュニティの再生と農村振興が一番最初に記載されているが、これらについてどのように組み立てようとしているのか教えていただきたい。

A わらアート実行委員会だけでは難しいので、ReRoots（リルーツ：大学生中心のボランティア団体）であったり、ReRoots から卒業した農家、支援者の方と共同で農村塾という取り組みを作ろうとしている。これらの方々とポータルサイトを使って、農業の魅力を発信していきたいと考えている。

(2) 事業名：西新丁から盛り上げるプロジェクト

団体名：西新丁から盛り上げる実行委員会

<プレゼン概要>

- ・若林区と繋がりのある映画人を取り上げたイベントの企画。

<質疑概要>

**Q イベント開催時、どれくらいの人数を募集する予定か教えていただきたい。**

A 西新丁のマンションの一室を借りて資料展を開催する予定だが、20人や30人の人が来ると一杯になる。ただ、マンションは現在工事中のため、直近のイベントは若林文化会館の隣にあるスペースで開催予定である。そこは70人から80人程度の集客予定である。

**Q とても貴重な資料だと感じたが、これをマンションで保管ということではなく、例えば、メディアテークなどの公的な施設に寄贈や保管をお願いするということは検討されたか。**

A 映画監督や俳優の書籍、新聞の切り抜き、ビデオ、写真など膨大な資料を一体的に収めるのは難しい。全国的に有名な神戸や福井の映画資料館では、小さいスペースから始めて徐々に大きくなった事例もある。

**Q マンションの一室を資料室として1週間開放するということが、そこに自由に人が出入りして、貴重な資料を手にとるということは、貴重であればあるほど、ルールが必要になる。そのルールについてどのようにお考えなのか教えていただきたい。**

A 回答なし。

**Q マンションの借用は無償か有償か。維持費もかかると思われるので、貴重な資料を見せるのであれば、入場料を取るのはいかがでしょうか、資料室の運営について教えていただきたい。**

A 入場料については、現在計画中であるが、300円程度を想定している。ただ、今回の事業は若林区の企画であるため、無料と考えている。映画に関心を持ってもらって映画人口が増えることが私たちの願いである。

**Q 映画の上映料として1上映あたり4万円としているが、これは古い作品を選んで費用を安く抑えているのか、それとも個人の所蔵しているビデオやDVDを扱うので、安く済んでいるのか費用について教えていただきたい。**

A 1本の上映権で10万円、高額になれば20万円はかかるものがあるため、当然費用が安く済むものを選んでいく。しかしながら、市民の皆さんに見てもらうには素晴らしい映画でなくてはならないため、そういった作品を選定している。

### 3. 令和5年度まちづくり活動助成申込事業の評価及び選考

#### ①せんだいわらアート実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの意見

- ・内容をブラッシュアップして、参加性を高め、行ったことがない人も行きたいと思わせるような企画を検討していただきたい。
- ・今後事業を継続していく中で、どういう形で財源を確保していくのか、検討いただきたい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を484,000円とすることが妥当である。

#### ②西新丁から盛り上げる実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの意見

- ・入場料、資料の管理、マンションの一室を資料室にする上でのセキュリティの問題等に疑問を感じた。
- ・その地域の特色を生かし、住民が主体性を持ちながら若林区のまちづくりにどう繋がっていくか具体性に欠けていた。例えば、誰を対象にして、どういう風に集客するか、分からなかった。
- ・愛好家が集うだけでなく、資料展の開催や上映会終了後にどうまちづくりに生かしていくかの視点が足りなかった。